

音楽

菅野美華

菅

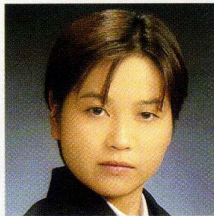
野美華さんは、本県の若手合唱指揮者として将来を囑望される一人です。合唱のモチベーションはおそらく名門福女合唱団時代に得たのだと思います。仙台の大学に来て大学合唱団の学生指揮者になって以来、合唱への傾倒はますます深まり、在学中に早くも合唱団Piacereを結成しました。仲間と合唱団を結成することは特に珍しいことではありませんが、そこから常に活動を充実させていくためには、飽くなき探究心と並々ならぬ努力が不可欠です。菅野さんの情熱は、Piacereとともに、全日本合唱コンクールやアンサンブルコンテストなどでの度重なる受賞歴にとどまらず、マイクロシュ・コチャール合唱コンクールへの挑戦、ハンガリーのバンキエーリ・シンガーズ仙台公演のプロデュースなど、さまざまな成果となって表れています。また、二〇〇二年にはハンガリーにおける第四回カンテムス国際合唱祭に参加、著名なサボー氏による指揮者ワークショップ

スターコースで学びました。

菅野さんは優れたアンサンブルセンスの持ち主ですが、特に音楽におけるパッションや構造を把握する力において優れていると思われます。これを私は、指揮者として成長してゆくための基礎的な素質だと思っています。しかし合唱音楽の奥は深く、合唱指揮者の成熟には時間がかかるものです。菅野さんはその辺のことをいち早く感じとり、加えてカンテムス音楽祭が刺激になったのでしょうか、世界的に有名なハンガリーの音楽教育の中心で合唱教育のメッカである、ゾルタン・コダーイ音楽教育研究所合唱指揮科の入学試験に挑戦し、見事合格しました。しかもハンガリー政府奨学金留学生という理想的な資格で、今秋には留学することになっています。

菅野さんは「ハンガリーでは合唱指揮はもとより、子どもから大人まで楽しめて、歌うことが心底好きになれるような合唱指導法について深く学んできたいと思っています。」と抱負を述べています。音楽を学びにヨーロッパに留学する学生は多いと思いますが、合唱指揮を専門とする人はまだそう多くありません。コダーイ音楽教育研究所合唱指揮科に学ぶ本県のパイオニアとして、良い学びを期待してやみません。帰後の活躍も今から楽しみです。

合唱指揮者・作曲家 今井邦男



かんの みか

福島県出身。県立福島女子高等学校を経て、東北学院大学文学部史学科卒業。大学在学中は学生指揮者として東北学院大学女声合唱団で活躍。さらに在学中の1995年には合唱団Piacereを結成した。

指揮法を久山恵子氏、合唱指揮法を岡崎光治氏に師事。2002年8月、ハンガリーの第4回カンテムス国際合唱祭に参加。国際指揮者ワークショップマスターコースにおいて、デネシュ・サボー氏に学ぶ。

現在、合唱団Piacere常任指揮者。宮城学院女子大学グリークラブ・アンサンブルトレーナー。日本ハンガリー友好協会会員。仙台市在住。



マイクロシュ・コチャール合唱コンクール最終審査
(東京：府中の森芸術劇場)

W O R K S